

## 平成24年度 学校目標一覧

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「学んだことをもとに、自分なりの考えを意欲的に話すことができる」
2	城 下	「基礎的基本的な学力の定着」（国語・算数）…児童が「わかった できた」と評価する授業割合を80%以上にする…
3	吹 上	「確かな学力の育成を図る」「基本的な学習態度の確立を図る」
4	長 者	「自他の良さに気づき高め合う子の育成」
5	岡 南	「見える学力の充実」「『問い』を持たせる授業の充実」
6	中 居 林	「多様な考えを引き出し、考えを深めるための教師の発問の工夫」
7	柏 崎	「基礎学力の確実な定着を図る」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着及び基本的生活習慣の育成を図る」
9	江 陽	「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」
10	湊	「基礎学力を身につけ、活用する子どもの育成」
11	青 潮	「話す力・書く力の育成を図る」
12	白 銀	「国語の学力向上を図る」
13	白 鷗	「基本的な学習・生活習慣を身につけた子の育成」
14	白 銀 南	「基礎学力の定着を図る」
15	町 畑	「学ぶ意欲を高め、国語・算数・社会・理科の基礎・基本の確実な定着を図る」
16	美 保 野	「学び方を身に付け、自分から取り組む子どもの育成」
17	鮫	「立腰教育を基盤に児童の心身を鍛え、学力の向上を図る」
18	種 差	「『自ら』を意識して学習・行動する態度の育成」
19	大 久 喜	「発表意欲の向上と基礎学力の確かな定着」
20	金 浜	「速く正しく計算できる子どもの育成」
21	根 城	「はっきり話す子、読書が好きな子の育成」
22	白 山 台	「『ともに高め合うこと』を意識して行動する態度の育成を図る」
23	江 南	「確かな学力の育成を図る」
24	田 面 木	「基礎・基本の定着」

25	下 長	「確かな学力の育成を図る」
26	城 北	「家庭学習習慣をつける～時間のレシピ作りの推進～」
27	高 館	「基礎・基本の確実な習得を図る」「基本的な学習態度の確立を図る」
28	根 岸	「基礎学力の向上…『話す・聞く・読む』能力を高める」
29	日計ヶ丘	「確かな学力の保証を行うための手立ての工夫」
30	是 川	「基礎・基本の確実な定着を図るー計算力の向上ー」
31	是 川 東	「何事にもめあてをもって取り組み、一人一人が輝く子の育成を図る」
32	三 条	「『書くこと』を通じ、思考力・判断力・表現力を向上させる」
33	西 園	「国語科（説明文）の授業の中で、一生懸命考え、相手に伝わるように書いたり発表したりする子どもの育成を図る」
34	明 治	「学んだ知識・技能を活用し自分の考えを表現できる子どもを育てる」
35	桔 梗 野	「基礎的・基本的な内容の定着」
36	轟 木	「基礎的・基本的な内容の定着」基本的な学習内容を確実に定着させ、それらを土台にした表現力・応用力を身に付けた児童の育成を図る（各診断テスト等で偏差値58、全国比117以上を目指す）」
37	多 賀	「基礎・基本の確実な定着を図る」
38	多 賀 台	「基礎的・基本的な内容の定着を図る」
39	豊 崎	「人の気持ちを考える心の育成を図る」
40	新 井 田	『進んで運動する子の育成』
41	松 館	「多様な体験を通して豊かな心を育み、進んで自分らしく表現する子に育てる」「児童一人一人の基礎学力を高め、進んで自分らしく学習する子に育てる」
42	旭ヶ丘	「国語・算数の基礎・基本の確実な定着を図る」「友だちと協力して活動できる子どもの育成を図る」
43	市 野 沢	「明るいあいさつ・確かな返事」
44	中 野	「伝え合う力を育成し、確かな学力の定着を図る」
45	鳩 田	「表現力の育成」
46	島 守	「基本的な生活習慣の育成を図る」
47	田 代	「自分の考えをまとめ、書くこと、話すことができる児童生徒の育成」
1	第 一	「『学校・家庭・地域による連携・協働の学校づくり』を通して、時と場に応じた挨拶ができる生徒、自分の考えを発表できる生徒を育てる」
2	第 二	「二中生としての誇りをもたせ、思いやりの心の育成を図る」

3	第 三	「基礎学力の確実な定着～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」
4	長 者	「聴き合い、学び合う中で、意欲的に学ぶ生徒の育成」
5	小 中 野	「夢と志をもち、自分を高める努力をする生徒の育成」
6	江 陽	「進んで発表する生徒の育成」
7	湊	「自らの進路を見つけ、それに向かって努力する生徒の育成」
8	白 銀	「確実に基礎学力を定着させ、自学自習できる生徒を育成する」
9	白 銀 南	「学習習慣が身についた生徒の育成」 「良好な人間関係を構築できる生徒の育成」
10	美 保 野	「生きてはたらく学力の保証」
11	鮫	「学習習慣を身に付けさせよう」
12	南 浜	「主体的に、協力して学習に取り組む生徒の育成」
13	根 城	「自分の考えや思いを積極的に表現できる生徒の育成」
14	白 山 台	「凡事徹底の取組により、コミュニケーション能力の育成を推進する」
15	下 長	「自分の考えで行動できる生徒の育成」
16	北 稜	「目標を持たせ、粘り強く努力する生徒の育成」
17	是 川	「わかる授業・家庭学習で学ぶ力を育み、学力の向上をめざす」
18	三 条	「朝読書や学級文庫の活用を通して、より進んで読書にいそしみ、読書の習慣化を図る」
19	明 治	「将来の展望を持ち、何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」～表現力（コミュニケーション能力）の向上を通して～
20	市 川	「一步を踏み出し、大きな声で、はっきり発表」
21	豊 崎	「共に学び合い、積極的に自己を表現しよう」
22	大 館	「主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成」 「心身ともに、力のある生徒の育成」
23	東	「自ら学ぼうとする力の育成を図る」 「自ら社会を創造しようとする力の育成を図る」
24	中 沢	「学習に対する意欲高揚のために一望ましい人間関係構築のためのカウンセリングの充実」
25	島 守	「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒」
26	田 代	「自分の考えをまとめ、書くこと、話すことができる児童生徒の育成」

# 平成24年度 学校評価の実施結果（概要）

今年度も市内各小中学校では、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び、評価結果等を広く保護者等に公表して、学校・家庭・地域社会の連携協力による学校づくりを進めるというねらいで、学校評価を実施しました。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校目標に即して精選した重点施策を設定し、学校評価を実施・報告していただきました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

## 1 各校の学校目標について

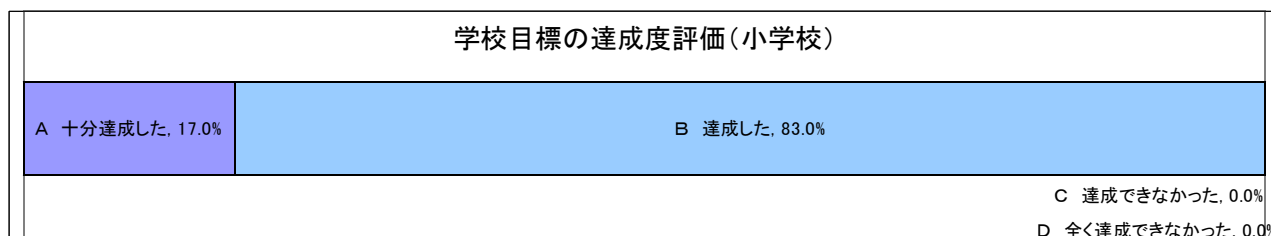
- ・各学校では、前年度の学校評価結果、児童生徒の実態等を考慮し、今年度短期的に特に重点をおいて達成を目指したいと考える学校目標を設定して取り組んできました。
- ・今年度は、昨年度と比較して、確かな学力・基礎学力の向上を学校目標に設定して取り組む学校が増加しました。

## 2 達成状況について

### (1) 学校目標の達成状況

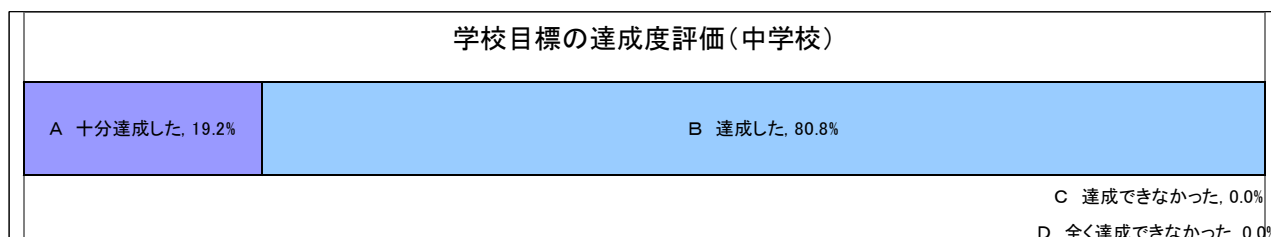
- ・市内小学校の学校目標の達成状況は、

**A－8校（17.0％） B－39校（83.0％） C－0校（0％） D－0校（0％）**  
でした。



- ・市内中学校の学校目標の達成状況は、

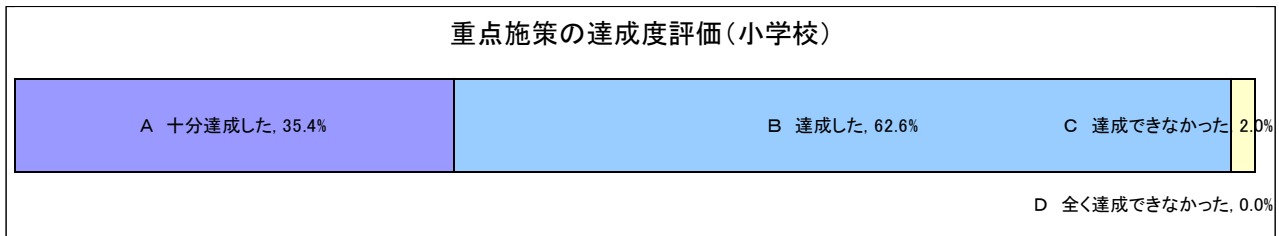
**A－5校（19.2％） B－21校（80.8％） C－0校（0％） D－0校（0％）**  
でした。



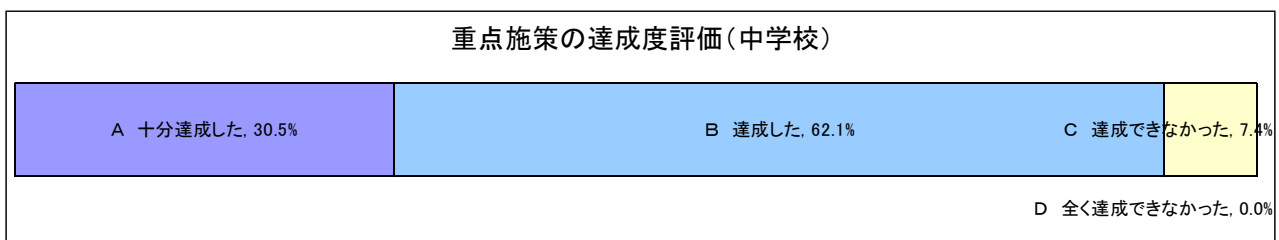
- ・小学校、中学校とも、A、B合わせて100％となり、全ての学校が今年度の学校目標はおおむね達成されたと評価しています。

## (2) 重点施策の達成度状況

- ・学校目標の達成に向けて、各学校では、2～8の重点施策を設定し取組を進め、その達成状況を評価しました。
- ・市内小学校の重点項目評価の集計結果は、  
**A－52項目（35.4％） B－92項目（62.6％） C－3項目（2.0％）  
D－0項目（0％）**でした。



- ・市内中学校の重点項目評価の集計結果は、  
**A－29項目（30.5％） B－59項目（62.1％） C－7項目（7.4％）  
D－0項目（0％）**でした。



- ・小学校、中学校とも、「A十分達成」「B達成」とされた項目が多くありましたが、「C達成できなかった」と評価された項目もあったため、今後の改善方策を検討し、具体的な取組の改善を図っていくことが必要です。

## 3 今後の取り組み

学校評価の結果を真摯に受け止め、児童生徒がより良い学校生活を送れるよう、学校運営の改善と学校・家庭・地域社会の連携協力による学校づくりを推進し、教育水準の保証・向上を図っていくことが必要です。